

La Movado

Fondita en 1951 N-ro 755 januaro 2014

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ōsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO
Tohurō minami 2-8-7, Dazaihu-si, Hukuoka-ken, 818-0105

ESPERANTO-LIGO de TYŪGOKU kaj SIKOKU
Oogonzan-tyō 7-15, Minami-ku, Hirosima-si, 734-0041

ENHAVO

第14回中国四国エスペラント大会に60人.....	忍岡守隆 1-2
語尾なし単語の使い方(13)	相川節子 2
楽しい作文教室(31)	塚本猛 3
Kajero libervola: Epoko de Katoj	KAWAI Yuka 4
対訳:「大きな手」(3)	竹久夢二/沖恵明 5
間に合ったローマン・ドブジンスキー氏の本.....	奥脇俊臣 6
書評:“Mara stelo”(Julian Modest)	津田昌夫 7
Amis 夫妻が長崎訪問.....	盛脇保昌 8
第62回関西エスペラント大会 informilo	9-12
Japanaj Malnovaj Rakontoj より(1) 笠地蔵	13
Salono: 相川節子、林周行、峰 芳隆	14-15
Vortaro por lernantoj (136)	Laŭlum 15
KER 試験対策セミナーのお知らせ.....	16
La Movado: 第62回関西大会, Nova Vojo500号... 16-17	
Enigma	Redakcio 18
作文教室課題 /KLEG 事務局だより	18
Mikspoto・作文教室成績	19
編集ノート	20

第14回中国四国エスペラント大会に60人

忍岡 守隆 (広島県)

11月9日～10日、第14回中国四国エスペラント大会が広島市の「エスペラントセンター東雲(しのめ)塾」で開催されました。参加したエスペランチスト50人以外に「まったくはじめての人のための2時間講習会」に市民4人ほか10人、「スカイプ国際交流」に小学生4人のほか10人、「お好み焼き」15人前実演・試食の手伝い2人を入れて35人、などなど総員60人が参加して3教室+サロンの大会会場は満員、サロンではコーヒーやミカンを手にとって群馬県や長崎県など遠方から参加した人たちとも集いを楽しむ人たちがいました。

沼津通信講座の藤巻謙一講師による「2時間講習会」は通信教育中級講座の受講申し込みが2人あり、分厚い学習書が8冊売れました。

別室では世界大会、日本大会報告

が迫力ある映像を使って1時間、会場は満席でした。

「スカイプ国際交流」の機器一式を背負って8日から広島エスペラントセンターに宿泊、準備した鳴門エスペラントクラブ主宰の木谷奉子さんの司会進行で参加者は成人が1時間、小学生が1時間、スクリーンの向こうで待機していた7か国9人と次々と交歓しました。

並行番組「ウクライナ、アメリカ、カナダに住んで」は Jenja と Joel Amis 夫妻がウクライナの民族衣装で2時間、田平正子さん・忍岡妙子さんの司会で40人ほどの参加者と活発な質問を交えて、多彩な映像とカナダの菓子で楽しみ、立ち見も出るほど

盛況でした。

9日夕べ、Bankedo 会場で京都の田平正子さん出演による青年運動 JEJ(Japana E-Junularo) 支援のため



の Aŭkcio で集まった 33,830 円は宮崎県から参加した JEJ 会計係の荒瀬早幸さんに手渡されました。

2011 年に 40 年来のエスペ란チストで広島エス会の会員 SH さんが集合住宅の 2 階 3 室を例会場として提供してくれたので、大会開催を決めた私の「大会の成功」の基準は以下の 3 点です。

- 1) 参加者が 30 人を超えて、楽しい経験をすること
- 2) 一般に広報し、はじめての市民が受講すること
- 3) 地元エス会の会員が大会を経験すること

そのどれも友人たちの協働で達成しました。

大会テーマは「ヒロシマのこころを世界へ エスペラントで」。会場では 1952 年から最近までに出版された原爆関係図書エスペラント版 50 点余から広島で出版した図書と収集した 30 点余を展示、開会式で「広島のエスペラント運動の歴史と今日」を忍岡妙子さんが映像を使ってミニ講演しました。教室とサロンの壁には 2013 年の国際女性デーのために寄せられた海外 57 か国 223 個人・団体のメッセージを展示しました。

大会は広島県、広島市、ユネスコ協会、NHK など 13 公共機関・団体の後援を受けました。これは今日まで約 130 年の先人たちの成し遂げた仕事が現在も良識ある人々に認識されていることの表れ、前例として他の地方大会や次の大会の後援申請書添付資料として使えるもので JEI 事務局のデータベースを補うものです。

2014 年の第 15 回中国四国大会は四国徳島県鳴門市で鳴門エスペラントクラブ主催と決まり、11 月 8～9 日に鳴門市ドイツ館で開催予定で、大会宿舎はお遍路さんのための宿坊です。広島大会 LKK の週例会では皆、大会後は前より自信をつけたように見受けられます。エスペ란チストとして大会をやった、という達成感のためでしょう。鳴門でも、そういうようになるといいと思います。

大会参加者の感想の一部です。

“La etoso de la kongreso estis familiara, amika, bonhumora, ĝojiga, do, la kongreso estis sukcesa.”

“La kongreso estis perfekta! La partoprenantoj mem aktivis en diversaj programeroj.”

“Mi ne scias kiel esprimi mian dankemon, sed mi ja vere vere vere ĝuis la kongreson!”

Tiuj ĉi vortoj, aparte la lastaj de unu el la junuloj inter la kongresanoj rekompencis miajn laborojn.

2014.1

初心者のための

語尾なし単語の使い方 (13)

相川節子

本来副詞 (21) kvazaŭ

「まるで～であるかのように」という意味の単語です。

La statuo kvazaŭ rigardis min.

(その像はまるでわたしを見つめているようだった)

実は kvazaŭ が副詞として使われる頻度は少なく、実際には接続詞として使われることがほとんどです。で、いずれ接続詞の項で改めて詳しく説明します。

本来副詞 (22) mem

「～自身」「自分で」という意味の単語です。人物だけでなく、物や抽象的なことからも使います。

代名詞や名詞といっしょに mi mem (わたし自身)、ili mem (彼ら自身)、la instruisto mem (教師自身) のように使う場合は、対象の単語のすぐあとに置きます。すでにご説明した almenaŭ や、次項の nur は対象の単語の直前に置くので、違いにご注意ください。ただし、「他の助けを借りずに自分で」という意味で使う場合の語順は比較的自由です。

Mi bone scias pri la akcidento, ĉar mi mem vidis ĝin.

(その事故についてはよく知っています。私自身が目撃したからです)

La kongreso de esperantistoj mem atestas, ke homoj povas interkompreni per neŭtrala lingvo.

(エスペ란チストの大会そのものが、中立のことで人間が理解しあえることを証明している)

La infano mem bakis kukon sen helpo de la gepatroj.

(その子は両親に手伝ってもらわず、自分でお菓子を焼いた)

per si mem という表現に時々出会います。直訳すれば「それ自身で」「ひとりで」となりますが、熟語として「おのずから」「自然に」の意味で使われることがあります。

La vero pri la afero klariĝos per si mem.

(その件についての真実はおのずから明らかになるだろう)

また、戯曲のせりふに al si mem と付け加えられているのを時おり見ます。独白のことですね。



①春には多くの植物が花を咲かせる。

【訳例 1】 Multaj plantoj floras en printempo.
(ikona)

【訳例 2】 Printempo incitas multajn kreskaĵojn
disflori.(Dalpengji)

【訳例 3】 En printempo multaj plantoj ornamas
sin per la floro.[一部修正](Ĉielo)

花が咲く、咲いている：flori.

「春には」は、訳例のように en printempo か printempe でしょう。「植物」は、解答ではほとんどが planto でした。この単語は planti (～を植える) が基本的な意味なので、plant(aj)o は文字通りかも知れません。少し広い意味で考えれば、vegeti (植生する) からの vegetaĵo (植物) や、公認語の vegetalo (植物) も使えると思います。

春は植物の発育期です。訳例 2 では kreski (成長する、発育する) から kreskaĵo (成長する物、植物) と表現しています。「春が多くの植物を開花へといざなう」でしょうか。

「花を咲かせる」ですが、日本語の「せる」に引きずられて igi を使う必要はありません。flori は自動詞で naski florojn の意味があります。訳例 2 は disflori (花開く) を使っています。floro を使った訳例 3 では、ornami (～を飾る) により「多くの植物が花で装う」としています。訳例 2 と同様に文学的な表現ですね。訳例 3 では、原文の en la printempo から la を削除しました。

②さまざまな花が庭で美しく咲いている。

【訳例 1】 Diversaj floroj bele floras en la ĝardeno.(びん、ヒー坊、Eiko、Ivajo)

【訳例 2】 Diversaj floroj konkuras reciproke pri sia beleco en la ĝardeno.(Dalpengji)

さまざまな：diversaj.

語順は異なるものの、ほとんどが訳例 1 のような解答でした。この floras は estas florantaj を使っても良いでしょう。訳例 2 では konkuri (競争する) を使っています。「庭では様々な花が互いに美しさを競い合っている」でしょうか。語根 flor の繰り返しを避けた表現ですね。reciproke (互いに) は

日本語同様、多くは 2 者の場合に使います。

③彼女は両手に花を持っている。

【訳例 1】 Ŝi portas florojn en ambaŭ manoj.
(Dalpengji, alfa)

【訳例 2】 Ŝi havas florojn en ambaŭ manoj.(ヒー坊、Eiko、Ĉielo、Festo、Fumi)

【訳例 3】 Ŝi tenas la florojn ambaŭmane.(Ivajo)

ambaŭ は 2 つあるものの両方という意味の形容詞または代名詞です。3 つ以上の場合には使いません。「両手に」なので訳例のように en ambaŭ manoj にします。その両手の持ち主はとうぜん主語の人と同じですから siaj の付加は不要です。

訳例には「持っている」に対応する語として porti (運ぶ)、havi (持つ)、teni (保持する) が出ています。文脈により使い分けることになりますね。後ろの前置詞を per、sur などに置き換えるとか、「両手」を「頭」に置き換えるとかして、どんな意味になるかを考えてみるのは、良い頭の体操になると思います。

④花はあたかも彼女に微笑んでいるようだ。

【訳例 1】 La floroj kvazaŭ ridetas al ŝi.(Drako、びん、CA、alfa、Yo)

【訳例 2】 La floroj kvazaŭ reĵetas al ŝi ĝojajn ridetojn.(Dalpengji)

【訳例 3】 Ŝajnas al mi, kvazaŭ la floroj ridetas al ŝi.(M.H., Fumi)

あたかも：kvazaŭ.

kvazaŭ の使い方ですが、訳例 1、訳例 2 は副詞として使い、訳例 3 は従属接続詞として使っています。副詞の場合、動詞は通常の時制を使います。この場合の語順については、訳例のように動詞の前に置く方が良いでしょう。kvazaŭ を離して文頭に置くと混乱します。

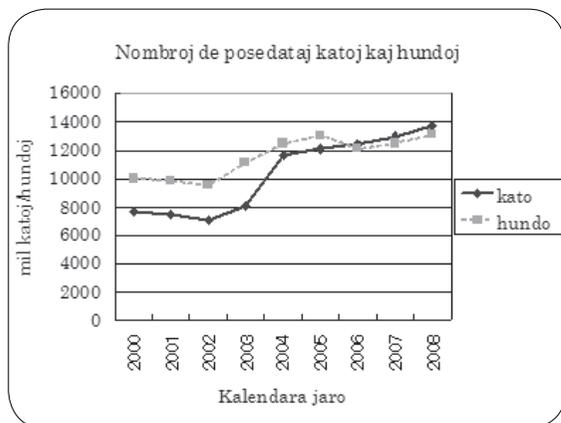
訳例 3 では、様子を眺めながら、「私には、まるで花々が彼女に微笑んでいるように見える」と表現しています。kvazaŭ の後では仮定法を使うことが多いのですが必須ではありません。話者の思いの強さや、どの時点かをはっきりさせるために時制を使う場合があります。なお、仮定法を使いながら、主文を省略したような解答を見受けましたが、そのような用法は好ましくありません。

成績は p.19、3月号の課題は p.18。

近年、写真集やカレンダーの被写体としてしばしば登場するのが、猫。インターネットでは可愛い・面白い猫の動画が多数。家庭での飼育数もどんどん増加—現代の日本人にとっての猫の魅力について、ささやかな考察をしてみました。

Mi tre ŝatas katojn. Kiam mi edziniĝis antaŭ 16 jaroj, la edzo jam havis katon, pro kio mi komencis vivi kun kato. Dume mi multe trovis ĉarmon de katoj. Nun mi havas du katojn.

En la lastaj jaroj en Japanio, multe malkreskas la nombro de beboj, sed male senprecedence kreskas la nombro de katoj kaj hundoj, kaj speciale tiu de katoj. Kial nun katoj?



Troviĝas kelkaj praktikaj kialoj por tio: unue, oni ne bezonas promenigi katon. Por grandaĝuloj promenigi hundon estas malfacile kaj ĝene, sed katoj ne bezonas tion. Due, katoj kapablas vivi unu-du tagojn sen vartado. Oni povas mallonge vojaĝi senprobleme, lasinte sian katon hejme. Do, estas nature, ke katoj estas bonvenaj al la nuna japana socio kun multaj sol-loĝantoj, kaj junaj, kaj maljunaj.

Sed ŝajnas, ke troviĝas aliaj kialoj rilataj al nia socio, ĉar ekzistas multaj kato-ŝatantoj, 2014.1

kiuj mem ne vartas katon sed nur amuziĝas, rigardante katojn en fotaroj kaj retaj movbildoj. Kial ili ŝatas vidi katojn en fotoj aŭ movbildoj? Certe troviĝas kialoj por tio.

Oni diras, ke hundoj estas la plej malnovaj kaj bonaj amikoj de homoj. Hundoj esprimas sian amon aŭ respekton al la posedanto per rektaj agoj: ili svingas la voston kaj lekas la manon aŭ la vizaĝon de la posedanto. Posedantoj atendas tian konduton de sia hundo.

Katoj kaj kato-posedantoj ne tiel agas. Katoj esprimas sian amon al la posedanto tute kaprice. Eĉ se la posedanto karesas sian katon, ĝi silentas aŭ forkuras, kiam ĝi ne deziras respondi. Aliokaze, katoj alfrotas sin al la posedanto per la kapo kaj ronronas, ne zorgante kion faras la posedanto.

En la nuna japana socio oni senĉese postulas videblan rezulton de ni. Ni, plenaĝuloj, estas senvaloraj, se ni faras nenion indan. Kontraste, katoj, kiuj faras nenion produktivan, estas valoraj, nur estante apud ni. Multaj posedantoj de kato diras al ĝi; "Sufiĉe mildiĝas mia koro pro via nura ĉeesto ĉe mi". Katoj ne bezonas agi zorgante postulojn de siaj ĉirkaŭuloj por esti amataj. Tio povas vekti envion de homoj. Kapriceco kaj malobeemo estas rigardataj malbonaj kondutoj en la homa socio. Plenaĝuloj ĉiam devas klopodi regi siajn tiajn emojn. Se ne, ni ne povas travivi. Tia sinregado foj-foje estas laciga. Tial por ne-malmultaj homoj ŝajnas esti iasenca kompens-agado amuziĝi per rigardado de katoj, ĉu reale, ĉu en fotoj aŭ movbildoj. Se la nuna populareco de katoj spegulas la socion hastigan, stresoplenan kaj malkvietan, tiu tendenco daŭros longe.

Sur iu japana ĵurnalo aperis jena senrjuo;
"Katoj ja faras,
kie ajn ili estas,
etoson mildan".

間に合った

ローマン・ドブジンスキー氏の本

奥脇俊臣（京都府）

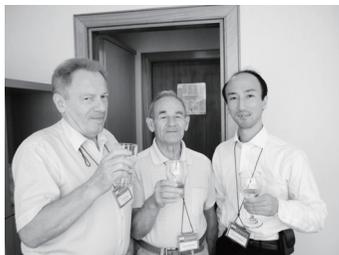
アイスランドで開催された第98回世界エスペラント大会に合わせ、ポーランドの著名なエスペラントティスト、ローマン・ドブジンスキー氏（元ポーランド国営放送局長、元UEA副会長、現UEA名誉会員）の著書「Rakontoj el Oomoto」（43分のDVD付き）の販売が2013年7月20日、世界大会会場で始まりました。

この本は、Esperanto-Populariga Asocio（EPA：エスペラント普及会）が創立90周年を記念して、ポーランドの出版社Skonpresから出したものですが、出版にかかわる仕事を私が担当し、内容のkonsultoをさせていただきました（本の中ではintervjuitoの一人として登場。また、表紙のデザインにもローマン氏と共に携わりました）。

世界大会に間に合わせる形で出そうということになったのは、2013年4月に入ってからのこと。本は全部で20章から成り、その大部分は、すでに出来あがりつつありましたが、5月末から6月初めにかけて開催されるEPA創立90周年記念行事に参加し、その時の様子を最後の章にしたいとのことでした。

ローマン氏が、5月末に亀岡へ到着するや、本で使う写真を一緒に選び直し、表紙をどうするかなども話し合って概略を決めました。

もちろん最後の章は彼が帰国してからの執筆となりました。6月19日が本のデータの入稿日と設定されました。ローマン氏の帰国後、しばらくして第20章の文章が送られてきて、早速校正。写真も選び終わり、順調に進むかと思いきや、出版社Skonpres社のヨハノ・スコニエツカ氏が脳卒中で倒れるというハプニング！ 世界大会での出版には



世界大会での出版を祝って乾杯
（ヨハノ氏、ローマン氏、奥脇氏）

到底間に合わないと思いましたが、しかし、氏の病状は軽く、「なんとか間に合うだろう」ということで入院中も仕事をさせていただくことに…。

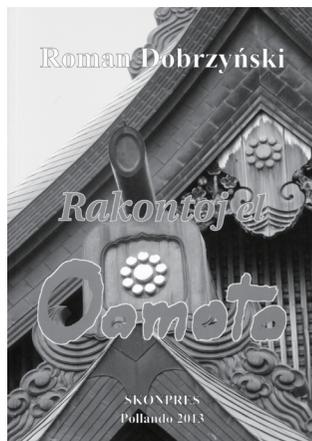
7月初めの氏の

退院後、本の印刷が開始され、付録のDVDのサンプルも送られてきて…、なんとか間に合いそうだったとのこと！ 世界大会会場にはローマン氏とヨハノ氏が本とDVDを旅行鞆に入れてきて、大会場の隅で、本の後ろにDVDを入れた透明な袋を貼付ける作業をしました（ちなみにヨハノ氏とは世界大会で初めて顔を合わせました！）。差し当たり、20部をLibroservoで販売していただくことに交渉がまとまり、無事に世界大会初日からの販売開始となったのです。

世界大会中は、まず20日夜のMovada Foiroで分科会ならびに本「Rakontoj el Oomoto」の紹介を、ローマン氏と一緒にチラシを配って行いました。分科会は「人類愛善会分科会」ならびに「大本分科会」を開催しました。「人類愛善会分科会」では、ローマン氏に「大本との出会いとその魅力」と題して30分間講演していただき、「大本分科会」では、43分間の付録のDVD「Japana Printempo-Oomoto」を上映し、分科会中も本の案内に努めました。

おかげで世界大会中もそこそこの数の本が売れていました。分科会後は、乗り継いだアムステルダム空港で私が買っていったワインで、ローマン氏とヨハノ氏と一緒にホテルで乾杯！ 無事、予定通りの出版にこぎつけ、仕事を終えたことを祝福しました。

一時は本当にどうなるかと思いましたが、今回の本の出版の仕事は、私にとって大変良い経験となりました。もちろんやりとりはすべてエスペラント。日本語での本の出版には携わったことがありましたが、エスペラントでは初めてのことでした。2013年の9月上旬には、本出版に関わる仕事は、すべて無事に終わりました。苦勞して出た一冊、ぜひ、皆さんも一度手にとってみてください。



Rakontoj el Oomoto

2500円

La Movado 755

Bibrokulturo

新刊案内・旧刊再読

“Mara Stelo”

津田昌夫（兵庫県）

Julian Modest 作、Impeto、2013 年発行、
110p. 1250 円、KLEG 取扱

“Ne nun, poste, poste.” このセリフは、モデストさんの短編、“Aütuna rendevuo”を読まれた方には、いつまでも耳から離れないものではないか。かつて、短編の名手と知って、手に入る 1990 年ごろまでの作品集を全て読みつくしていたので、モバードの最近号（#751）の新刊・新着欄に Mara stelo を見つけた時、「おや、モデストさん健在だったのだ」と、急ぎ注文した。

本書の裏表紙には、白髪でメガネをかけにっこり笑っている、白い半そでシャツ姿のモデストさんのカラー写真がある。1952 年、ブルガリアの首都ソフィア生まれ。1977 年から 85 年までハンガリー在住、同国の esperantistino と結婚。86 年にブルガリアに戻り、ソフィア大学でエスペラントを教えた、とある。今年、61 歳。まだこれからも傑作が期待できるということ。うれしい限りだ。日本では、日ごろ、ブルガリアとか、ハンガリーとかのニュースをあまり耳にしないので、登場人物の名前やら地名がとても新鮮。それらを目にするのも、エスペラントの本を読むもう一つの楽しみだ。

さて、冒頭のセリフは、学生時代、しのび寄る夜、冬の公園で、マントに身を包んだ主人公の Pol が Lina を抱きしめて激しく接吻を交わした時、彼女がささやいた言葉。しかし、その“poste”がこないまま、それぞれ別の道に進み、40 歳をすぎ、妻もある今、Pol が働く事務所に Lina から電話があった。「この町に来ている、6 時にホテルで」と。果たして、“poste”はあるのか。この短編は、ほんの一部カットされて、コルカーさんの“Vojago en Esperanto-Lando”にも載録されている。

そして、本短編集の最初に取り上げられているのは、“Aütuna renkontiĝo”で、バスで乗り合わせた老人から聞かされた話という形をとるが、6 年前に妻を亡くした、70 過ぎの元教師のところへ、昔、大学を出て教師として働き始めた時の同僚で、初恋の相手だった女性から電話がかかってきて... という話だ。わたしには、上述の“Aütuna rendevuo”の見事な改定版

にして、完結編と思えた。それにしても、ブルガリアの秋は、しかも、雨が降れば、ことさらに詩情をかきたてるのだろうか。

「九月も終わろうとしていました。夏が終わって、最後の保養客もすでに帰ってしまいました。ホテルは空っぽ。わたしは冬の準備をしようとしていました。実際、冬は泊まり客は一人もないのです、ここ Belmar では。夜の八時ごろ、わたしがテレビのニュースを見ていると、ベルが鳴りました。出てみると、十八歳ぐらいの女性が立っていました。」と、その男が、話し始めた...。「ええ、今、こうして話してみても、彼女はちょっと変わっているな、とその時わたしが感じたことを思い出します。第一、彼女はこのホテルで一人でいたいと言い、さらに、一人でお祝いをしたいのだと言い、ついで、その時は気がつかなかったのですが、わたしを混乱させるようなことを言ったのです。彼女は、二度も、わたし一人しかいないのかとたずねたのです。わたしは、そうだと答えました」...。これは、この本の表題となった短編の一部。ホテルの名前「海の星（ヒトデ）」に惹かれて、若い歌姫が車を止め、彼のホテルに泊まったのだが... という話だ。モデストさんのエスペラント文は、短文が多く、単語だけの文があつたりで非常に読みやすい。しかも、話が面白いのでエスペラントの勉強に読書をとも考えている初学者に、真っ先に薦めたい。

このように、モデストさんの短編小説のテーマは、男女間における感情の機微と、その微妙なズレだったり、親の気持ちが息子たちに分かってもらえないといった世代間の考え方の違い、そして、現代人が忙しさ、便利さにかまけ、金銭的な価値観を優先し、人と人とのつながり、人と動物や自然とのつながりをなおざりにしていることに気づかせることだ。後者の場合、それは大人のファンタジーといった形をとる。本書では、いくつかの作品がそれに相当するが、特に、秋の午後、公園のベンチで物思いにふけっている「わたし」の前に、突然、「おじさん、僕が見える?」と話しかけてくる男の子が登場する“Nevidebla knabo”がそうだ。普段、バラバラとしか目を通さない'Monato'誌だが、最新号(aŭgusto-septembro 2013)の'noveloj'欄で見つけた“Mi luigas miajn okulojn”はその典型だ。

本書には、期待たがわぬ 21 の作品が収められている。活字も大きめで目に優しい。コーヒーを飲みながら、一つの作品を読み終えたら、次の作品に手を出す前に“Ne nun, poste, poste.”と、コーヒーを一口、ゆっくりと余韻を楽しみたい。それが 21 回も。なんと贅沢なことか。

Amis 夫妻が長崎訪問

盛脇保昌 (長崎県)

カナダ在住の若い Joel、Jenja Amis 夫妻が 11 月 15 日～17 日、長崎を訪れ、16 日には、長崎エスペラント会会員と一緒に昼食を楽しみ、例会に参加してもらった。15 日の昼前に下関からバスで諫早インター着、盛脇が車で出迎え、まず、宿泊となるカトリックセンターへ行き、荷物を預け、目の前の浦上天堂を訪ねた。中では関東から来た高校生がミサの合唱をしていた。次に永井隆博士の住んでいた如己堂へ行き、そのあまりの小ささと、昭和天皇やヘレン・ケラーが同博士を訪ねたことに驚いていた。昼食は、長崎市内の日本料理店。昼のサービスメニューの寿司定食 1,100 円にした。握り 9 貫に茶碗蒸しなどがついている。握りの 1 つにウニがあり、Jenja は初めて食べた喜んでた。その後、爆心地公園、平和公園と散策し、原爆資料館を訪ねた。2 人は熱心に見学していた。その後、片足鳥居を見学し、その近くの大きな被爆楠の木がある、山王神社を訪ねた。Joel は宗教を勉強しているとのことで、神社の裏側まで見ていた。次に長崎歴史文化博物館に行き、長崎の歴史や江戸時代の長崎奉行を再現した建物を見学した。夕食は、チャンポンを食べ、暗くなったところで、世界 3 大夜景の 1 つに認定された稲佐山へ行った。目の前に広がる様々な明かりに Amis 夫妻は感激し、写真をたくさん撮っていた。その後、カトリックセンターへ行き、1 日目終了。

16 日は、26 聖人殉教地を見たが、Jenja はその公園の猫たちに興味があったようだ。次に大浦天主堂を見てグラバー園を見学。対岸の三菱重工の様子も見ていた。聖コルベ館に寄ったが、コルベ神父についてはよく知らないようだった。Jenja に見せたかった、おそらく日本最大のロシア人墓地がある、悟真寺を訪ねた。あいにく鍵がかかかっていて墓地内には入れなかったが、塀の外から、屋根が玉ねぎのような (Jenja による表現) ロシア聖堂のミニ版やロシア独特の十字架の墓石を見た。予定時間が迫っていたので、急いでブリックホールに向かい、予定を 20 分遅れて、1 階のレストランでなごやかに 6 人の長崎エスペラント会会員と昼食。その後、2 階のいつもの地球市民の広場の会議室でプロジェクターを使ってのカナダ紹介やカナダのことについて、「Veras aŭ malveras?」と 2014.1

本当かうそかを答えるゲームをして盛り上がった。慣例の作文では、深堀と盛脇の「食べ物 mangajo」について、2 人に添削してもらった。皿うどんを盛脇は日本語エスペラント辞典から、vermicelĵoj としたが、nudeloj が適切と指摘された。最後に「ふるさと」を 3 番まで歌って、例会は和やかなうちに終了した。その後、出島見学。たくさんの建物が復元され、2 人は熱心に見学。ミニ出島の写真を撮っていた。夕食は中華料理を食べ、カトリックセンターへ行き、2 日目終了。

17 日は、まず、眼鏡橋へ行った。Jenja は川を横断している飛び石の上まで行き、ベストアングルで眼鏡橋の写真を撮っていた。次は、諏訪神社。ちょうど、前々日の 11 月 15 日が七五三で、かわいい着物の女の子が何組か来ていて、Jenja は写真に収めていた。Joel は、ここは興味深いようで境内を上の方まで回っていた。次に寺町を、並んでいる多くの寺を車から見ながら通り、福濟寺へ。ここには、大きな亀の上に長崎観音が立っている像があり、26 聖人殉教地から見えたので、Joel が行きたいと言っていたところ。寺の解説によると、観音の頭から 25.1m の長さの日本最大のフーコーの振り子があり、地下の部屋でぶら下がっている錘を見学した。その後、女神大橋を通り、市内の景色を車から一望してから、長崎駅へ行き、昼食後、福岡へと向かう列車の 2 人を見送った。



テーブルに沿って左から盛脇、Joel、深堀、津和崎、西、瀧本、中尾、Jenja

Amis 夫妻は、10 月 12 日から 15 日まで行われた日本エスペラント大会に参加したあと、約 1 か月にわたって京都府の大本本部に滞在。その後、広島で行われた中国四国大会に参加、太宰府・長崎・下関・黒部・京都・宇治などを訪れて各地のエスペランティストと交流。奈良と神戸でのザメンホフ祭にも出席しました。

(編集部)

第62回関西エスペラント大会

La 62a Kongreso de Esperantistoj en Kansajo

31 majo – 1 junio 2014 en Himeji

日時: 2014年5月31日(土)・6月1日(日)

会場: イーグレひめじ (姫路国際交流センター)

姫路市本町(姫路駅北15分, 大手前公園の手前)

主催: はりまエスペラント会

一般社団法人 関西エスペラント連盟

後援: 姫路市, 姫路市教育委員会, 姫路市文化国際交流財団, 毎日新聞姫路支局, 神戸新聞, 読売新聞, サンテレビジョン, 姫路地方文化団体連合協議会

(以下は申請中) 兵庫県国際交流協会, 朝日新聞, ラジオ関西, 産経新聞



大会テーマ 歴史と文化のまち姫路にエスペラントの風を!

Esperanton en la urbo Himeji, historia kaj kultura!

第62回関西エスペラント大会は、世界文化遺産・姫路城の姫路市で開催します。姫路での開催は、1968年の第16回大会以来、46年ぶりです。姫路につどい、エスペラントのことを話し合いませんか。そして、日ごろの学習と活動の成果を披露し合い、経験を交換しましょう。また、エスペラントによる民際交流の可能性について話し合い、エスペラントの歴史と現在、そして将来を語り合しましょう。

会場の「イーグレひめじ」は、世界文化遺産の姫路城を臨むところにあります。白鷺城の別名がある姫路城は、大天守閣の大修理が終わり、工事の大素屋根が外されつつありますので、大会のころには、その一部を見ることができるよう。会場からは、初夏の新緑の海に浮かぶ世界文化遺産の城郭全体を展望することができます。お城の周辺には姫路市立美術館、兵庫県立歴史博物館、姫路文学館等があります。

★公開講演 6月1日午後

日本語講演

橋弘文 大阪観光大学教授「柳田国男とエスペラントの人びと」橋さんは、民俗学者として、庶民のエスペラントによる外国との交流を研究されている方で、「民俗学の父・柳田国男」がエスペランチストであったこと、それに関連してその思想遍歴と彼につながる「遠野物語」の語り部・佐々木喜善、さらに宮沢賢治などのエスペランチストについても話していただきます。

柳田国男は、姫路近郊の出身で、郷土の偉人として尊敬されています。

エスペラント講演 (通訳付き)

アレクサンドラ綿貫さん「現代ポーランドに与えた日本文化の影響」エスペラントが誕生したポーランド出身のアレクサンドラさんの明瞭で美しい発音は、エスペラント入門学習書のCDで、お聞きになった方が多いと思います。ご夫婦で、ポーランドのワルシャワにおいて、「はだしのゲン」等の翻訳出版をされた経験から、とくにマンガ文化を中心に、現代ポーランド社会における日本文化の影響を話していただきます。通訳は夫君の綿貫健一郎さん。ご夫婦は関西大会に初お目見えです。

野田淳子コンサート 6月1日午後 公開
シンガーソングライターの野田淳子さんのミニコンサート。野田さんは、命と平和の尊さを歌い続けるプロ歌手で、金子みすゞの詩によるオリジナル曲や上條恒彦とのジョイントコンサートなどで高く評価されています。現在、京都エスペラント会の会員で、もちろん、エスペラントでも歌っていただきます。野田さんの透きとおった魅力ある歌声をお楽しみください。

エスペラント入門講座 5月31日午後
講師は森川和徳さん。京都エスペラント会の講習会での指導には定評があります。無料の2時間講座です。エスペラントのことを知りたいという方にお勧めください。

エスペラント講演 未定
この大会でも、関東エスペラント大会と連携して、アジアから若いエスペランチストを招き、その国のエスペラント運動などについて話していただく予定です。

学習番組
①相川節子さん「語尾なし単語いろいろ」
②アレクサンドラさんの発音講座
③初心者向けの番組

分散会
①外国人と話す会 もちろん、アレクサンドラさんにも参加していただく予定です。
②木谷奉子さん「スカイプで外国の仲間と交信」(交信の実際を見せていただきます)
③「エスペラントで歌おう」(エスペランチストの愛唱歌を一緒に歌いましょう)

分科会 ①5月31日午後、②6月1日午前
交流の場として分科会を開催するグループは3月10日までに申し込んでください。会の名称、希望日時と予定人数、責任者の名前と連絡先。なお、申し込み状況は機関誌とホームページに掲載します。

朗読の腕だめし 5月31日午後
テキスト自由(5分間以内)。順位は付けません。参加者全員に参加賞(KLEG図書券)贈呈。申し込みは4月10日まで。先着5人。

Gaja Vespero 5月31日夕
エスペラントによるあるいはエスペラントをテーマにした歌、寸劇、朗読など。グループ・個人でご参加ください。恒例の田平正子さんの Esperanta Aŭkcio も予定しています。
申し込み; 4月10日締め切り。

Bankedo 5月31日夕 (Gaja Vespero の後)
会場:「総社会館」の「和(なごみ)ダイニング三日潮(みかしお)」大会会場から徒歩で数分。
参加費:5,000円(乾杯用飲物付き)
申し込み:4月30日締め切り。先着50人。

ポーランド人形展示
三好鋭郎さんが収集された世界の人形コレクションからポーランド各地の民族人形を借用して、Kongresa Salono で展示する予定です。

Kongresa Salono
恒例の Libroservo で、エスペラントの図書やCDなどを展示即売します。

Kongresa Stampo kaj Poŝtoficejo
大会記念スタンプが作られて、姫路郵便局の臨時出張所がその押印のために開設され、各種記念切手販売、郵便物の引受なども行われる予定です。
また、恒例の前川治哉さん制作の「大会記念フレーム切手」と記念絵葉書・記念封筒の販売も予定されています。

大会参加記念品
タニヒロユキ編『簡明日本語エスペラント辞典』。日常用語中心の携帯できる実用的な日エス辞書で、2011年に出版された『簡明エスペラント辞典』の日エス版です。

(予価 1400 円)

Ekskurso

第1日目の10時、会場1階に集まっていたら、姫路城まで案内します。

姫路城は、会場「イーグレひめじ」の目の前にあり、徒歩数分ですから、ご都合に合わせて、ご自由に見学していただくこともできます。

宿泊

姫路駅周辺には、多数のホテルがあります。その中から比較的会場に近いホテルを紹介いたしますので、各自で予約をお願いします。

< 駅北 >

ホテルウィング姫路:079-287-2111(ビ)

アパホテル姫路:079-284-4111(ビ)

※この2つが、会場に近くてオススメです。

< 駅南 >

東横イン姫路駅南口:079-284-1045(ビ)

ヴィアイン姫路:079-286-6111(ビ)

ホテル姫路プラザ:079-281-9000(ビ)

ホテル日航姫路:079-222-2231(シ)

※(ビ):ビジネスホテル, (シ)シティーホテル

観光シーズンになりますので、予約はお早く。なお、兵庫県外からの大会宿泊者が一定数以上の場合、「姫路観光コンベンションビューロー」から大会への助成があります。該当の方は、大会受付で、その旨(氏名、ホテル名、宿泊日)をお知らせいただくようにお願いします。

昼食

会場フロア全体、飲食が禁止されています。そのため、2日目(6月1日)の昼食弁当はご用意できませんが、「イーグレひめじ」内と周辺には、多数の食事処があります。なお、弁当の持ち込みも禁止されていますので、ご協力を。

会場への交通案内

JR/山陽電車姫路駅から御幸通(みゆきどおり:アーケードがある通り)を北へ約15分直進し、突き当たりの姫路城を望む大手前公園の手前右手のガラス張りのビルが「イーグレひめじ」。大会受付は4階のエスカレータを上った所。(エレベータもあります)。

参加費など

①2月末まで*	3,500円
②4月末まで*	4,000円
③5月以降*	4,500円
④学習1年未満の新人*	2,000円
⑤35歳未満* (申し込み時)	1,000円
⑥20歳未満 (記念品なし)	無料
⑦不在参加*	2,500円
⑧Bankedo	5,000円
⑨記念写真	300円

*) 記念品の対象になります。なお、「不在参加」は、大会には出席できないが、協賛したいという方が対象で、記念品などの大会資料をお送りします。

プログラム(暫定)

第1日 5月31日(土)

10時～	Ekskurso (集合)
13時～	受付開始
(午後)	無料入門講座
	分散・分科会①
	開会式
	エスペラント講演
	朗読の時間
	Gaja Vespero
18時30分～	Bankedo (約2時間)

第2日 6月1日(日)

(午前)	分散・分科会②
	記念写真
	(昼食休憩)
(午後)	公開番組
	日本語講演
	野田淳子コンサート
	エスペラント講演
	閉会式 (16時閉会)

プログラムの詳細は、決定次第、大会ホームページ (<http://kek2014himeji.info/>) と機関誌 La Movado に「大会最新情報」として掲載します。また、4月末までの申し込み者には、「大会直前情報」としてお送りする予定です。

(2013年12月11日現在)

Bonvenu al Himeji por la 62a Kongreso de Esperantistoj en Kansajo!

La kongreso estas jarkunveno de KLEG (Kansaja Ligo de Esperanto-Grupoj). En 2014 ĝi okazos en la urbo *Himeji* (himeĵi).

La urbo estas fame konata pro la mondkultura heredaĵo "Kastelo Himeji"; kaj situas okcidente de *Kobe* kaj survoje al *Okayama*, *Hiroshima* kaj al *Kyushu*; kaj tial tre oportuna loko ankaŭ por turismi en la okcidenta Japanio.

Variaj programeroj atendas vin kaj vi certe konatiĝos kun novaj aspektoj de nia movado. Bv. partopreni kaj interamikiĝi kun niaj samideanoj!

Dato: 31a de majo kaj 1a de junio, 2014

Loko: "Egret Himeji"

(Internacia Centro de Himeji)

Organizas: Harima Esperanto-Societo
kaj Kansaja Ligo de Esperanto-Grupoj

Provizora tagordo

31a de majo (sabato)

Antaŭkongresa ekskurso

Malferma soleno

Fakaj kunsidoj ktp

Gaja Vespero

Bankedo

1a de junio (dimanĉo)

Fakaj kunsidoj ktp

Malfermaj al la publiko

prelego pri Yanagita Kunio

koncerteto de Noda Junko

prelego de Aleksandra Watanuki

Ferma soleno

Kotizoj (en japana eno)

① aliĝo ĝis la fino de februaro	3,500
② aliĝo ĝis la fino de aprilo	4,000
③ aliĝo ekde majo	4,500
④ komencanto malpli unujara	2,000
⑤ junulo malpli ol 35-jaraĝa	1,000
⑥ junulo malpli ol 20-jaraĝa	senpage
⑦ morala aliĝo	2,500
⑧ bankedo	5,000
⑨ memorfoto	300

Ĉiu aliĝinto, krom senpage junulo, ricevos kongresan memoraĵon: "Konciza Vortaro Japana Esperanta" eldonota okaze de la kongreso.

Kontaktadreso: esperanto@kleg.jp

harima@esperanto.ne.jp

Retejo: <http://kek2014himeji.info/>

参加申し込み

郵便振替で、お申し込みください。

郵便振替口座：00970-7-186418

口座名：関西エスペラント大会

電信振込の場合は、次の項目をメールで

関西エスペラント連盟事務所へ。

住所、氏名（漢字とローマ字並記）

（青年⑤⑥の場合は年齢）

送金の内訳、電話番号

なお、参加申し込みに関する問い合わせは、

関西エスペラント連盟事務所へ。

メール：esperanto@kleg.jp

561-0802 豊中市曾根東町 1-11-46-204

電話：06-6841-1928/ファクス：06-6841-1955

各種の申し込みは下記へ

(分科会, 朗読, Gaja Vespero)

第62回関西エスペラント大会実行委員会

673-0011 明石市西明石町5-6-2

(事務局: 多田龍二)

電話・ファクス: 078-929-0510(多田)

メール: harima@esperanto.ne.jp

大会シンボルマークのキャラクターは姫路市の「しろまるひめ」。姫路観光コンベンションビューローの使用承認済。

El "Japanaj Malnovaj Rakontoj"
de YANAGITA Kunio
柳田國男作「日本の昔話」より (1)

第 62 回関西エスペラント大会では、「柳田國男とエスペラントの人々」というテーマで公開講演が行われます。柳田は、大会が行われる兵庫県の出身で、優れたエスペランチストでした。

柳田の功績のひとつに「日本の昔話」の編さんがあります。この本に掲載された 108 話のうち 26 話が、翻訳グループ「民話研究会」のメンバーによってエスペラントに翻訳され、1965 年に Amokademia から "Japanaj Malnovaj Rakontoj" の表題で発行されました。

「民話研究会」では、一話ごとに全員がそれぞれ翻訳をして持ち寄り、それを誰か一人がまとめるという方法で原稿を作ったそうです。会員（敬称略）は宮本正男を中心に、竹内義一、藤城謙三、藤本達生、池田弘、河合秀夫、北さとり、小西岳、村田慶之助、無漏田慶哉、野崎貞夫、野島安太郎、サカモトショージ、田中貞美、竹花稔一、山田忠弘、山中英男など、19 人でした。

本誌では、関西大会の公開講演にちなんで "Japanaj Malnovaj Rakontoj" から何篇かを連載します。まずは 1 月号にふさわしく、大晦日から元旦にかけてのお話を紹介します。

なお、各話の末尾の名前は、共同翻訳の際にそれぞれの話の訳をまとめて最終稿を仕上げた人です。

Ksitigarboj kun pajlĉapelo (笠地藏)

Antaŭ longa, longa tempo en iu vilaĝo loĝis tre bonkoraj maljunulo kaj maljunulino. Li havis metion: plektadi pajlĉapelojn kaj kolporti ilin en urbo.

Eĉ en la tago ĝuste antaŭ novjaro li iris vendi ĉapelojn, sed en tia jarfina bazaro tiaj varoj estis aĉetitaj neniom. Senhelpa li reiris hejmen kun la ĉapeloj sur la dorso, kaj survoje li trovis Ksitigarbojn sur kamparo, kiuj staras tute malsekaj kaj frostiĝintaj en furioza neĝblovado. Ha, kia domaĝo! li pensis en sia koro kaj surmetis siajn ses ĉapelojn sur la ses

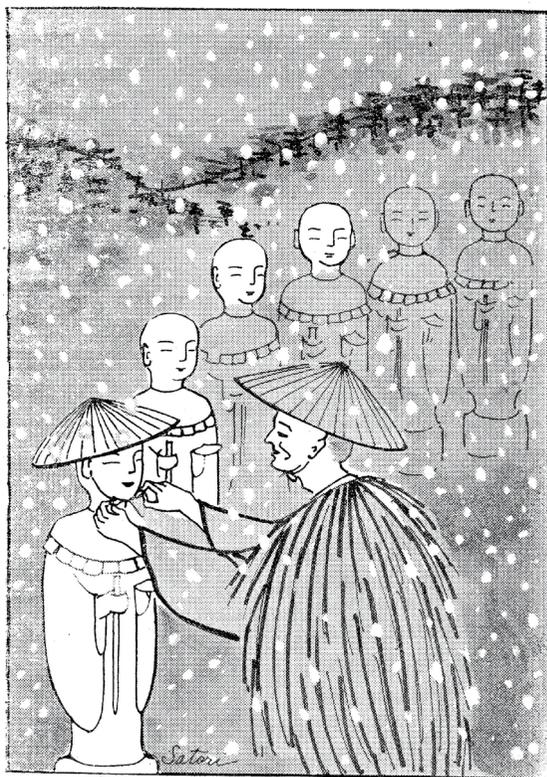
ŝtonajn Ksitigarbojn.

Kaj li revenis, rakontis tion al sia maljuna edzino kaj tuj sin kuŝigis, ĉar ili havis nenion farendan. En tiu nokto, jam preskaŭ je la tagiĝo de la novjaro, ili aŭdis sonon de sledo, kiu venas de malproksime kun jena kanto:

Kie loĝas l' avinet',
kie loĝas ŝia edz',
kiu per ĉapeloj ĵus
ŝirmis Ksitigarbojn ses?

La voĉoj pli kaj pli proksimiĝis kun trensono de sledo, la maljunaj do sin levis kaj kriis: Ĉi tie, ĉi tie! Tiam, bum! tra fenestro enĵetiĝis sako da trezoroj, kaj ili nur vidis la dorsojn de ses Ksitigarboj retroirantaj, oni tiel rakontas. (SAKAMOTO syōzi)

Ksitigarbo : unu el bodisatvoj; ĉi tie temas pri ties statuo.



笠地藏 desegnis KITA Satori



「第 100 回」の宣伝効果

相川節子（京都府）

第 100 回日本エスペラント大会の公開番組には、エスペランティスト以外にたくさん的一般市民が出席した。公開講演で

椅子が足りなかったり、入門講座で資料が不足したりと、うれしい悲鳴が聞こえる場面もあったという。関係者が広報活動でさまざまな努力をされ、また一般参加者も友人知人を積極的に誘ったおかげだろう。京都に住んでいるエスペランティストが東京の友人を誘っていっしょに参加した、というケースもあった。そしてもうひとつの要因、「第 100 回」という数字がマスコミの関心をひき、新聞などが予告記事を書いてくれた、という話も聞いた。

それで思い出したことがある。2 年ぐらい前、京都エスペラント会の例会に地方新聞の記者が取材に来た。会員の中川邦彦さんが、自身の国際交流体験を詳しく書いて新聞社に送っていて、それを読んで訪ねて来たのだ。その時、会誌 *Al Vi Kara* の 101 号を見たその記者が「100 号が発行された時だったら、記事にできたのですが…」という意味のことを残念そうに言うのを聞いて、はっとした。

どんなに活発な活動をしていても、それが日常活動にとどまっている間は、新聞社として記事にしにくいのだ。この時、2 時間近くかけていろいろな話を聞いてもらったのに、結局京都エスペラント会は記事にならなかった。エスペランティストがおこなっている外国人との密な交流も、国際活動のさかんな京都では特別な興味をひかない。でも、「機関誌が 100 号に」だったら、町のニュースとしてとりあげてもらえたかもしれないのだ。

そこで教訓。たとえば会の結成から 20 年たったとか、機関誌が 50 号なり 100 号なりになったとかいうような時、すかさず地元マスコミに情報提供をしよう。

実はわたしが所属している宇治城陽エスペラント会でも、機関誌 *Verda Teo* がいつの間にか(?) 100 号を超え、先日 107 号が出た。京都と宇治城陽は機会を逃したけれど、これから記念すべき回数や号数を迎える会のみなさん、マスコミ対策のことも心の隅に入れておいてくださいませんか。

2014.01

ボーカロイドで エスペラントの歌を

林 周行（大阪府）

これまで、多くのエスペラントの歌がいろいろな出版物に掲載されてきました。訳詞・作詞に挑戦された方もいらっしゃると思います。しかし音楽本来のありかたを考えると、「耳で聴ける形」で提供したいものです。ナマの歌を聞かせられるとよいのですが機会が限られますので、CD などの音楽媒体にしたり、いまの時代なら YouTube などのインターネット動画サイトを活用することになります。けれども、伴奏つきで歌うことは敷居の高い活動です。私たちはまず第一にエスペランティストであって音楽家ではないのですから、作詞・訳詞まではできたとしても、歌や演奏までこなす人は限られます。

しかしいまは、パソコンを使いデジタル合成で音楽作品を作る方法があります。歌や演奏が苦手でも、パソコン・ソフトの助けをかりてオーケストラ伴奏つきの歌を合成音で作れるのです。このとき歌声合成に活躍するのが、「初音ミク」に代表される「ボーカロイド」と呼ばれるソフトウェアです。また、楽器演奏合成の歴史はボーカロイドより古く、コード進行を入力して演歌調とかロック調といった指定をすれば、それ風の伴奏を自動作成するソフトさえあります。こうした新しい手法を使ったエスペラント楽曲が、もっと発表されてもよいのではないのでしょうか？（ニコニコ動画や YouTube といった動画サイトは JASRAC と包括契約をしているので、自分自身で歌ったり演奏したりパソコン作成しているのなら、最近のヒット曲を公開しても著作権上の問題はありませぬ。）

「私もやってみようかな？」と思ったかたにひとつご注意を。「パソコンで簡単に楽曲を作る」のは確かですが、それはそれで「難しい」作業でもあります。ワープロを普通に使うより難しいです。でも、小説家がワープロを使い始めた頃のように、生ピアノや五線用紙を使わずパソコンに向かって作曲する人たちも現れてきています。エスペラント音楽でも、こうした新しい手法に挑戦するかたたちが増えていってほしいものです。（ボーカロイドの楽曲は、インターネット上で検索すればたくさんヒットします。数は少ないですがエスペラントの歌も…。）

エスペラント運動を テーマにした博士論文

峰 芳隆 (兵庫県)

イギリスのイアン・ラブリーさんから、戦前の日本におけるエスペラント運動に関する論文 "Green Star Japan: Internationalism and Language in the Japanese Esperanto Movement, 1906-1944" が完成し、博士号を取得したという知らせとともに、そのコピー (PDF) が送られてきた。

次の書き出しのメールが届いたのは 2010 年 3 月。「Ulrich Lins 先生と後藤齊先生から、峰芳隆先生が日本エスペラント運動史のご研究をなさっていらっしゃるの伺いました。先生のご研究に関するお話をお聞かせいただけたらと思い、お便りを差し上げる次第です。私は Ian Rapley と申します。現在英国オックスフォード大学大学院博士課程に在籍する学生として、日本近代史を研究しています。博士論文のテーマは 1920 年から 1930 年代の日本人エスペランティストに関するものです」(原文のまま)。

彼は、まもなく来日し、同年 5 月には拙宅を泊り込みで来訪。エスペラントは学習を始めたばかりということで、その時は日本語でのやりとりであったが、のちにはそれもエスペラントになった。帰国後もメールの交換が続き、執筆は進んでいると聞いていたが、ついに完成したという知らせを受けて、我がことのようにうれしい。

この「緑の星の日本」という論文は、次の 6 章から成り立っている。

- 1) 始まりは「世界語」
- 2) Esperantismo の高揚
- 3) 国際連盟における日本とエスペラント
- 4) 地方のエスペラント、とくに青森県の運動
- 5) プロレタリア・エスペラント運動
- 6) 国粋主義的運動

彼のテーマは、なぜ、ヨーロッパから離れた日本においてエスペラントが社会から支持されたのかということで、なかでも東北地方の、特に青森県の運動に 1 章があてられている。しかし、私の英語力では、この論文を読み通せないのが残念である。

彼の指導教官は Sho Konishi 教授で、大学図書館には、日本のエスペラント運動に関するかなりの蔵書があるという。

La Movado 755



sata: Sufiĉe manĝinta.

*Al sata homo plenstomaka
Kaj malsatulo stomakvaka
Okazis arda disputado
Pri la bezon' de forno baka.*

savi: 1 Evitigi iun al morto, liberigi iun de danĝero: *savi* pandojn de pereo. 2 Gardi ion de difekto aŭ pereo.

*Por savi nian karan teron,
Ne poluciu l' atmosferon.
Pro malpurigo de l' medio,
Ni certe trafos vivosuferon.*

sceno: 1 Parto de teatro, kie la aktoroj ludas.

2 Okazo interesa, priskribinda.

*Tertremo trafis la havenon,
Kaj kreis okulfrapan scenon:
Ruinaĵ muroj, kuŝaj arboj...
Dronigis homojn en ĉagrenon.*

scii: 1 Koni precize kaj plene. 2 Esti instruita, ekzercita, kapabla por io.

*Deklaris Konfuceo:
Se vi ne scias ion,
Konfesu do pri tio.
Tio signifas scion.*

scienco: Sistema scio pri io bazita sur metoda esploro kaj eksperimentoj por koni la leĝojn.

*La edukado kaj scienco
Kondukas homojn al potenco.
Por pliriĉigo kaj prospero,
Akcelu ilin en prefero.*

seĝo: Sidilo kun apogilo por unu persono.

*Trono estas speciala seĝo
Ornamita por regnestro-reĝo.
Ne aliaj rajtas sidi sur ĝi
Libervole laŭ la ŝtata leĝo.*

エスペラント単語練習帳

1200 円

KER 中級試験対策セミナー及び模擬試験*を受けてみませんか

KLEG 教育部

2014年5月に実施されるKER試験に挑戦してみようと思っている方、KER試験とはどんなものか知りたい方の為に、B2(中級)向けのセミナー及び模擬試験(筆記試験のみ)を実施します。答案は添削の上、後日郵送で受験者に返却されます。添削により、各受験者の弱点が認識され、学習の参考になると思います。是非、この機会に受けてみてはいかがでしょうか。

KER (Komuna Eŭropa Referenckadro) 試験とは、EUが決めた「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠」に基づく外国語でのコミュニケーション能力をはかる試験です。エスペラント版KER試験が2008年末に立ち上げられてから、すでに30回以上実施されました。日本では、2012年に第1回目の試験(筆記試験のみ)が日本エスペラント協会および関西エスペラント連盟の事務所において行われました。第2回目(2013年)は、KLEGでは行われませんでした。KER試験会場の設置条件として、5人以上の受験者がいることが条件となっています。

※注：模擬試験問題は、過去のKER試験問題を参考に、KLEG教育部が独自に作成します。

* * *

実施日：2014年1月25日(土)

セミナー開講及び模擬試験実施条件：申込者人数が4人以上の場合に限り実施します。

実施場所：京都エスペラント会館(075-343-3120)

京都市下京区西洞院通五条上る八幡町537-6

時間割：10:00～12:00 B2(中級)試験解説

12:00～13:00 昼食及び休憩

13:00～16:00 B2(中級)模擬筆記試験

(PV,PIV持参可。模擬試験答案用紙提出者から順次退席可。)

講師：相川節子(2012年、上級のC1に合格)

受講受検料：一般3,000円、KLEG会員(La Movado購読者含む)2,800円。

(受講受検料は当日徴収します。)

申込期限：2014年1月15日(水)

申込先：関西エスペラント連盟教育部宛

メールアドレス esperanto@kleg.jp、

2014.01

La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La

第62回関西大会実施要綱決まる

2013年11月7日の第3回大会実行委員会と11月16日のKLEG委員会での予算案承認を経て、大会参加費などの実施要綱が決定した。詳細は、本号に綴じ込みのInformilo参照。また、姫路市と同教育委員会の後援が決定し、マスコミ各社への後援申請も進んでいる。 [←はりまエスペラント会]

ロンド・コロノ主催「新年会2014」

日時：2014年1月11日(土)12:00～17:00(予定)

会場：エスペラント会館4階教室(「早稲田」駅すぐ)

参加費：一般2,000円(手伝い、かくし芸などで割引あり)、外国人1,000円、中学生まで無料。

申込み先：korno@esperanto.ne.jp または 03-3429-5173(菊島)

内容：司会・進行はエスペラントのみで。

全員の自己紹介、コロノ特製「手作りおでん」の昼食、ゲーム、多言語朗読("DIALOGO"を予定)、歌、かくし芸披露など。

第39回スキー合宿のお知らせ

山形エスペラントクラブのスキー合宿が今年も実施される。

日時：2014年2月14日(金)～16日(日)

会場：ロッジスガノ

(山形市蔵王温泉8718-26 電話023-694-9355)

参加費：20000円(2泊4食を含む)

申し込み：はがきまたはファクスで下記へ

〒991-0065 寒河江市大字中郷1450-01

国井クリニック内 山形エスペラントクラブ

電話0237-84-4103 ファクス0237-84-4139

メールアドレス info@kunii-c.jp

交通：JR山形駅より蔵王温泉行きバスで40分、終点バス停より徒歩10分。山形自動車道山形蔵王インターより30分。

↘

電話06-6841-1928、ファクス06-6841-1955

申込必須事項：メールによる申込者は、名前、メールアドレスを記入し、電話やファクスでの申込者は名前、電話番号をお知らせください。

Nova Vojo 誌が 500 号に

大本のエスペラント普及会 (Esperanto-Popular-iga Asocio) の月刊誌 Nova Vojo が 2013 年 11 月号で 500 号に達した。創刊は 1964 年 2 月。東京での世界大会を控えて、大本青年部の学習誌として発行された。現在の編集は裕大福 (はざま・ひろとみ) さんが担当。エスペラント普及会の活動や行事予告、大本関連の文書のエスペラント訳、初心者向き・中級向きの学習記事が掲載されている。

ロンドの活動

吹田エスペラント会

11 月 3 日、メイスアター小ホールで吹田市民文化祭参加「エスペラントふれあい講演会」を開催した。43 人参加。初めに、佐藤守男副会長他の挨拶、続いて吹田第 6 中学校 P T A コーラス同好会と Heliko の共演によるエスペラントと手話のコーラス。そして、講演の前にフェアトレードの解説として朗読劇「人生を変えたバングラデシュの女性たち」が演じられ、斎藤和子さんの講演「フェアトレードのある暮らし」が始まり (途中海外協力の DVD 上映あり)、フェアトレード製品使用の若い女性たちによるファッションショーで終了。司会は京都エス会の後藤美和さん。 [←大畑賀代子]

池田エスペラント会

11 月 2～4 日、IKEDA 文化 DAY に参加。B2 版のパネルで日本大会などを展示した。

11 月 17 日、冬の季語で俳句の会。参加 4 人。「モバード俳句」へ投稿した。 [←島谷剛]

宇治城陽エスペラント会

11 月 9 日・10 日、文化パルク城陽で行われた城陽市民文化祭に参加。11 月 16 日・17 日、宇治公民館まつりの展示部門に参加。どちらも、エスペラントを説明したパネル、外国人を迎えた時の写真、書籍類、それに少女漫画雑誌『花とゆめ』に連載された「僕らは楽園で結ばれる」の単行本などを展示した。 [←相川節子]

各地のザメンホフ祭 (E = エスペラント)

宇治市

近江 E 会・京都 E 会・宇治城陽 E 会合同で、11

月 30 日に南宇治コミュニティーセンターで行われた。参加者 24 人 (近江 5 人、京都 8 人、宇治城陽 8 人、その他 3 人)。まず、宇治城陽 E 会が作成した観光案内サイトの紹介。橋本義郎さん・今日子さん親子のリコーダー演奏に続いて、森川和徳さんが日本エスペラント協会の広報担当のしごとを説明、同協会の広報サイトを紹介。自己紹介、休憩のあとは野田淳子さんのミニコンサート。大西真一さんが KLEG 事務所当直の経験を話したあと、司会の清水博子さんによる「宇治検定」を楽しんで散会した。本の売上げは 13,070 円。 [←相川節子]

奈良市

奈良 E 会・大阪 E 会・堺 E 会合同で、12 月 1 日に奈良市立西部公民館で行われた。参加者 20 人 (大阪 5 人、奈良・堺各 4 人、他に富田林、京都、EPA、他 5 人、ゲストとしてカナダより Joel Amis、Jenja Amis 夫妻)。

横田裕さんの司会で、まずエスパーロ斉唱と自己紹介。そして、木元靖浩さんが第 7 回アジアエスペラント大会について報告、田熊健二さんが第 98 回世界エスペラント大会について報告した。引き続き、蒲池富美子さんのゲーム、本の紹介、休憩と懇談が行われた。休憩後、Amis 夫妻のカナダに関するクイズとお話、そして、木元さんによるエスペラントでの「第九歓喜」の紹介と歌唱指導が行われた。終了後参加者のうち 8 名が近鉄学園前駅ビルの食堂で夕食と懇談を行った。

本の売上は 23 冊 33,150 円。なお、市民にも HP 上と新聞の「会と催し欄」(掲載されたのは 1 紙) で参加を呼びかけたが参加者はなかった。 [←木元靖浩]

「ワン・ワールド・フェスティバル」(OWF) にご協力を

関西エスペラント連盟は、2014 年 2 月 1 日 (土)・2 日 (日) に大阪国際交流センターで開催される OWF にブースを借りて活動紹介を出展します。他にも民族料理模擬店や、ホール・会議室を使ったセミナーや映画などがあります。図書類を委託販売するコーナーが設けられるので、背表紙を広告媒体と考えてここにも「出展」したいと考えています。

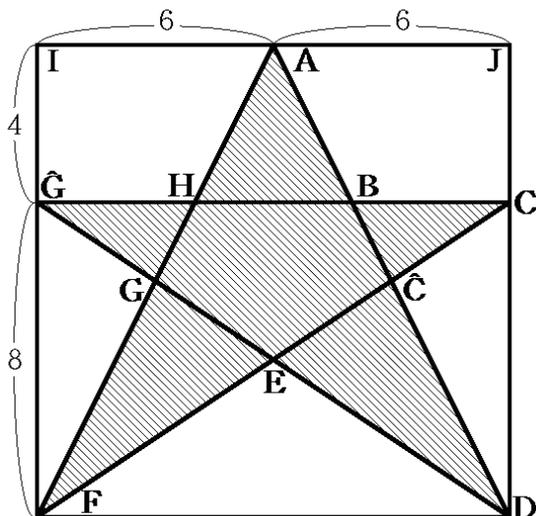
当日は皆さま大勢来場いただいて、労力を借りるとともに広報員となっていきたいと思います。

(KLEG 組織部)

Enigma

Redakcio

Jen kiel la plano oni desegnis verdan stelon en kvadrato kun lateroj dek du centimetrojn longaj. Kiom da kvadratcentimetroj havas la areo de la stelo?



La solvo al la novembro numero:
ARGENTINO

La ĝustan solvon donis 3 legantoj:
Kacu, あらいとしのぶ, 中村文雄

※ 10月号の正解「GALAKSIO」の解答者の中に、平井俊佐さんのお名前が抜けていました。おわびして訂正します。

O	K	A	N	T	I	E	G	R
T	N	E	G	R	A	O	I	K
G	R	I	O	E	K	N	A	T
N	E	R	T	A	G	I	K	O
A	T	K	I	N	O	R	E	G
I	O	G	R	K	E	A	T	N
E	A	T	K	O	R	G	N	I
K	I	O	A	G	N	T	R	E
R	G	N	E	I	T	K	O	A

KLEG 事務局だより

★ KLEG 事務所は、年末年始 12月29日から1月3日まで休みます。ご協力をお願い

いたします。

★第62回関西大会は、例年より早く今月号に Informilo が挟み込まれましたが、受付業務は事務局が担当することになりました。

★ La Movado は何月号からでも購読開始できますが、12月に更新時期を迎える方が一番多いです。

会費・購読料の切れる方は、更新をよろしくお願ひします。

KLEG 後援会にご協力を

関西エスペラント連盟 (KLEG) は、残念ながら会費や行事収入、図書の売り上げだけでは日常的な経費もまかなえません。もちろん KLEG は日常活動に加え、青年活動支援や日本セカンドライフ協会での講座開催、ワンワールドフェスティバルへの参加など様々な活動にも取り組んでいます。また、ウィンドウズXPのサポート停止によるパソコンの買い換えは、待たなしです。物価が上昇する中、心苦しいのですが、KLEGの活動を支援するため、「関西エスペラント連盟後援会」(振替口座 00940-1-26233)へのご寄付をお願いします。

なお、今月号に挟み込んでいる振替用紙 (赤色) は寄付専用です。会費・購読料や書籍代金の送金には使わないようお願いします。

楽しい作文教室 3月号課題 (1月20日締切)

- ①彼らはしばしば昼に外食する。
- ②彼はファーストフードを食べている。
- ③彼女はよく喫茶店に行く。
- ④その喫茶店はファーストフード店の近くにある。
(ヒント) しばしば ofte、昼食をとる tagmanĝi、ファーストフード rapidmanĝaĵo、喫茶店 kafejo、restoracio、kutimi を調べましょう。日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。

送付先:

[郵送] 〒674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811
塚本 猛

[電子メール] c_tak@esperanto.ne.jp

(件名に「作文」の文字を入れてください)

添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

Mikspoto (当欄は敬称略)

☆ ひつじ書房の『日本エスペラント運動人名事典』のパンフレットに、佐高信、宝井琴桜、馬場マコト、平出隆、米沢富美子が推薦文を寄せている。佐高は「エスペラント応援団」を自称する評論家。宝井は講談「長谷川テル」の作者。馬場、平出、米沢は、家族が掲載されている。 [←峰芳隆]

☆ 出版業界の専門紙『新文化』2013年11月7日号に、『日本エスペラント運動人名事典』のかなり詳細な紹介記事。 [←ひつじ書房]

☆ 『サンデー毎日』2013年12月1日号で、佐高信が連載コラム「政経外科」において、「言語とは『理想』であり『支配』を生む エスペランティストの『抵抗』を思う」の見出しで、『日本エスペラント運動人名事典』を書評し、「エスペラントには偏見と弾圧がつきまとった」と。そして「個人で買うには高価かもしれないが、図書館には是非とも備えて欲しい本だ」と。 [←後藤斉]

☆ 文学同人誌『幻視社』7号(2013年11月)に、向井豊昭「Saitô-Hidekatu」と岡和田晃「エスペラント小説 Saitô-Hidekatu のためのささやかな覚書」。向井の作品は戦前山形県の小学校教師でローマ字教育をしたエスペランティスト斎藤秀一の抵抗を描いた短編小説で、向井が1978年に自家出版した小説集『ここにも』からの転載。ザメンホフの伝記や斎藤秀一のローマ字日記などが引用されている。岡和田の「覚書」には、エスペランティストであった向井と斎藤の紹介と『日本エスペラント運動人名事典』の言及がある。 [←星田淳、峰芳隆]

☆ 『点字毎日』(活字版、2013年10月10日)に連載中の菊池京子「岩橋武夫を囲む人々」の「12. 鳥居篤治郎に「エロシエンコとの出会い」「盲人とエスペラント」など、鳥居と岩橋が共にエスペランティストであったことへの言及がある。 [←菊池京子]

★ 世界エスペラント協会の2013年文芸コンクール Belartaj Konkursoj の入選作品集 "Belarta rikolto" (Mondial 社) に掲載されている Eseo の部の第1席 Jorge Camacho の "De hajko al hajko" は、広高正昭著 "Kiel verki hajkon en Esperanto" を取り上げ、先行した宮本正男たちの Hajkista Klubo や奥村林蔵らのエスペラント俳句の様々な試みにも言及している。 [←峰芳隆]

☆ 鹿島茂『昭和怪優伝—帰ってきた昭和脇役名画館』(中公文庫、2013年)に、「ほんの数カットしか映画に出演していないにもかかわらず、強烈な存在感でいつまでも記憶に残る脇役がいる。……その典型が佐々木孝丸である」と一章を設けて佐々木孝丸について述べている。エスペラントとのかかわりについては「……秋田雨雀に私淑して、エスペラント語を学び」(p104) とひと言触れるのみだが、俳優佐々木孝丸の魅力がよくまとまっている。

☆ 黒田龍之助『ポケットに外国語を』(ちくま文庫、2013年)は、「言語多様性について」の章でエスペラントに言及している。

☆ タブレットや携帯電話用のOS「Android」版の「Google 翻訳」がアップデート。エスペラントでも手書き機能が利用できるようになった。

☆ 『神戸新聞』12月2日朝刊「編集委員インタビュー コミュニケーションの壁乗り越えるには？」は、『日本エスペラント運動人名事典』とそれを監修した峰芳隆を紹介。「共通の言葉によって国家の壁を越えようとした人々が現代に訴えるものとは何か」と、6段抜き写真入り。執筆は、同紙文化生活部の平松正子編集委員。 [←野々村耀]

☆ 『文学こうべ』18号(日本民主主義文学会神戸支部、2013年11月)掲載の宝木実「黙秘」は、作者の兄弟、寛(ゆたか)と武則の戦前の反戦エスペラント運動とその挫折を描いた作品。 [←宝木実]

☆ 佐高信・佐藤優対談集『世界と闘う「読書術」思想を鍛える1000冊』(集英社新書、2013年11月)のテーマに、「今、エスペラントが面白い」。また、二人の挙げる「必読ブックリスト」には、エスペラントに関するものが9件。 [←峰芳隆]

楽しい作文教室 (31) 成績

17名の方から応募がありました。()内は留意事項です。

うん、良いね : Drako, Dallengji, alfa, Yo, Fumi
良いね : びん (前置詞), T. Ku, ヒー坊, M.H., Eiko, CA, Ĉielo(la), Ivajo, AG, Festo, ikona
もうひといき : Ĉielarko(綴り)
がんばろう : 無し
キラリ賞 : Dallengji(④), Ĉielo(①)



★ 新刊・新着 ★

◇ 残りわずか。品切れご容赦 ◇

日本エスペラント運動人名事典 特価 5880円

柴田巖・後藤斉編、峰芳隆監修。エスペラント運動に関わった約2900人の経歴を集成。JEIのご協力で特別価格で販売します(部数限定)。ひつじ書房発行。A5判上製カバー装、函入り、672p。

※刊行記念特価販売のため会員割引はありません。

ドリル式エスペラント入門 その1・その2 840円

JEI新教材企画委員会が作成した自習教材。その1が43課、その2が40課。A4判簡易印刷、43+40p。解答集(21+20p)は別冊です(210円)。

高杉一郎・小川五郎 追想 1000円

『夜あけ前の歌』『スターリン体験』などの著作、ピアス『トムは真夜中の庭で』などの訳者として知られる高杉一郎=小川五郎の追悼文集。ご遺族の提供で特価で販売します。A5判、280p。

Knabo en Marso 1300円

バスク語から翻訳された児童向けのSF読み物。大きめの文字でやさしく読みやすい。B6判、49p。

Ĉapulo la fantomo 1300円

かわいのお化けが活躍する児童向け読み物。バスク語からの翻訳。やさしく読みやすい。B6判、39p。

Poŝtmarkoj el Esperantujo 1600円

Premitaj floroj 600円

Senokulvitro 600円

この3点はSteven D. Brewerのエスペラント俳句集。著者は『エスペラント俳句の作り方』に作品

が紹介されているアメリカ人。英語の対訳付き。しょうしゃな挿画入り。各冊A5判、100p-150p。

Ĉiamen plu (KD) 2100円

グループLa perdita generacioの最新アルバム。"La kosma aventuro", "Ĉiuj ni amegas Usonon", "Ne normalas, nur kutimas"など13曲を収録。

★ 再入荷 ★

Historio de UEA 1600円

Ziko van Dijkの博士論文をもとにした通史。

★ 在庫から ★

ひとすじのみどりの小径 1500円

高杉一郎著。「エロシェンコを訪ねる旅」-エスペラントと共に歩んだ知識人の回想。

エスペラント俳句の作り方 500円

広高正昭著。エスペラント俳句の初の手引き書。

対訳宮沢賢治童話集(第2版) 1200円

小西岳訳。「気のいい火山弾」「蛙のゴム靴」「ひのきとひなげし」「蜘蛛となめくじと狸」を収録。

世界の旅人堀さんの気ままエッセー3 1200円

愛読者の多い堀泰雄の好評エッセー集第3巻。

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払い振替口座で。

編集ノート



☆ ザメンホフ祭の報告が次々に集まっているのですが、一部を1月号に、残りを2月号に載せることにしました。

☆ 編集を手伝っていただける方を募集中です。(島谷剛)

発行所：ラ・モバード社 編集：小西 岳 発行人：北 さとり 定価280円 送料60円 1年3800円 送料共本局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204
電話(06)6841-1928 ファクス専用(06)6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.jp
振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://kleg.jp
九州支局：九州エスペラント連盟内 818-0105 福岡県太宰府市都府楼南2-8-7 武藤たつこ方 電話(092)923-2877
中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 734-0041 広島市南区黄金山町7-15 忍岡守隆方 電話(082)286-2745
印刷人：村上 治道 621-0815 京都府亀岡市古世町北古世82-3 株式会社 天声社